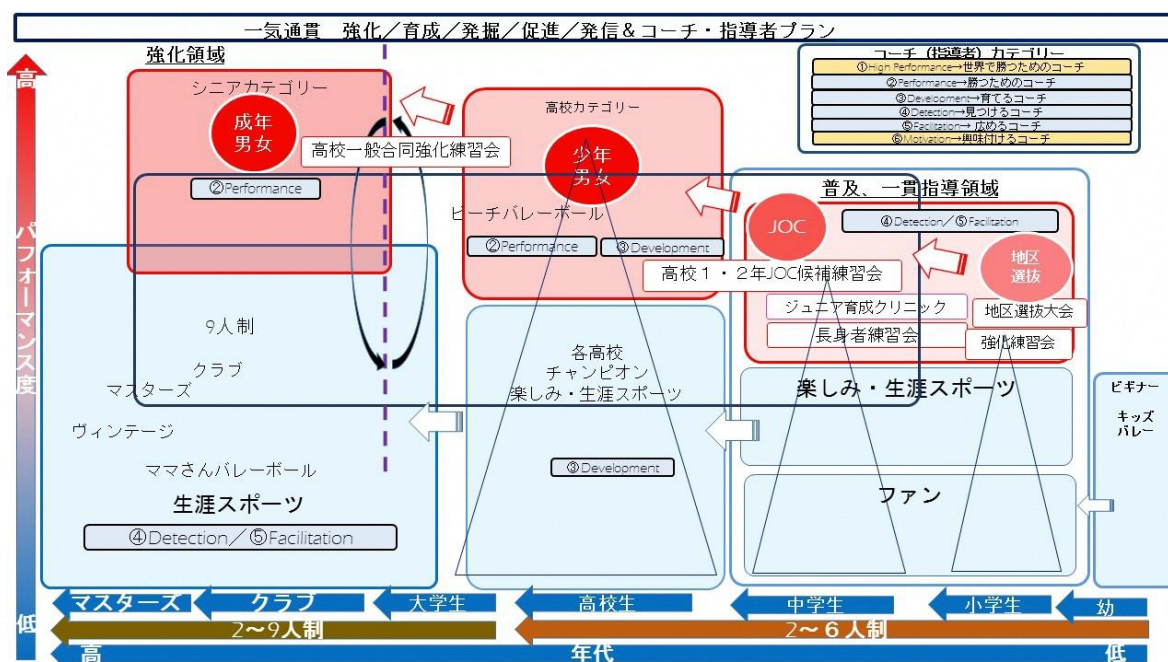


## 指導普及強化委員会

- 1 沖縄県バレーボール協会委員会規程指導普及強化委員会にかかる事業等を推進する。
  - (1) 指導者の資質向上及び資格認定に係わる事業。
  - (2) 国体及びJOC等県代表指導者及び選手選考に係わる業務。
  - (3) 国体及びJOC等県代表選手の練習会等の企画及び実施。
  - (4) 競技普及の事業。
    - ①講習会等及び事業の企画運営。
    - ②「JVAゴールドプラン」に基づく競技普及に係わる業務。
    - ③小学校におけるソフトバレーボールの指導普及に係わる業務。
  - (5) 指導者の招聘及び派遣に係わる業務。
  - (6) 技術向上の為の指導法の研究。
  
- 2 具体的な方策
  - (1) 指導普及に関して、本県のバレーボール競技人口が年々減少している現状に対し、県バレーボール協会と地方協会が連携して、男子小学生競技人口拡大モデル事業を組織的に取り組む。
  - (2) 今日のスポーツ界は以前に比べ、低年齢化が進んでいる。他競技では小学校低学年から人材発掘に取り組み、多くの子ども達を育成している。このことから本協会においてもキッズバレーボール準備委員会を設置し、4歳児～小学校3年生までの幼児・児童を対象にバレーボールに親しむ機会を提供し、競技人口の拡大に取り組む。
  - (3) 各地域において小学生・中学生を指導する資格者の配置を目指して、その育成と資質向上に取り組む。

以上のように、本協会では人口拡大や人材発掘、指導者育成と資質向上を両輪と考へ、これを推進する。
  - (4) 強化に関して、中学校ではJOC全国大会で上位入賞を目指す。少年・成年種別では、九州ブロック国体予選大会で2種別以上が突破し、本国体で得点を獲得できるチームを目指し、様々な強化策への取組みを推進する。
  - (5) (公財)沖縄県体育協会が事業展開する「平成31年度企画提案型競技力向上対策事業」の推進を図る。
  - (6) 令和元年度全国高校総体(南部九州総体)での上位入賞と併せて、国体少年男女の強化を推進する。
  - (7) 最重要課題として、各加盟団体の協力のもと、一貫指導体制システムを構築する。



- ア 強化事業：小中高大一般連携事業の推進
- イ 指導普及事業：人口拡大計画の推進、指導者育成の推進

### 3 具体的努力目標

#### 強化事業

- (1) 平成 31 年度企画提案型競技力向上対策事業として、少年男子・成年男子を重点に強化を図る。
  - ①少年男子
 

選抜チームを編成し、様々な強化事業に取り組み九州代表権を獲得し、茨城国体での上位入賞（ベスト8）を目指す。
  - ②成年男子
 

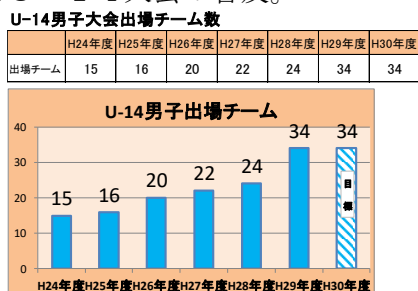
ふるさと選手を起用しつつ、県内企業等の協力を得て選抜チームを編成し、九州代表権を獲得する。
- (2) JOCの強化
- (3) 連携事業
  - ①高校・一般合同練習会（男子）
  - ②中学（JOC）・高校（一次国体候補）合同練習会（男女）
  - ③ジュニア育成クリニック（男子）
  - ④長身者練習会
  - ⑤令和元年度からの国体ビーチ少年の部開催に向けた中・高合同強化練習会の実施

- (4) 中学生の発掘  
長身者合宿の推薦
- (5) 小学生の発掘  
エリートアカデミーへの推薦
- (6) 令和元年度全国高校総体（南部九州総体）に向け強化を行い、上位入賞（ベスト8）を目指す。

指導普及事業

(1) 競技人口拡大

- ①風船バレー：高校生等の大会において、ブースを設けて活動させる。
- ②小学生男子バレーボール人口拡大計画モデル事業の実施。  
ア 令和元年度那覇市で男子小学生バレーボール人口拡大事業を実施する。那覇市バレーボール協会を中心に那覇市内のママさん、一般、高校、中学、小学生が連携・協力し、組織的に部員募集活動を行っていく。  
イ 令和2年度の候補地を検討する。
- ③協会主催（中学・高校）大会へのクラブチームの出場資格付与。
- ④部員募集用ポスター・チラシの活用。
- ⑤指導希望者人材バンク：希望チームへの指導者紹介。
- ⑥有資格者の活用：名簿の作成をして、カテゴリーに分別整理する。
- ⑦JVAゴールドプランバレーボール教室（小学生）。
- ⑧U-14大会の普及。



- ⑨キッズバレーボール準備委員会の設置。  
キッズバレーボールの競技人口拡大に向けて、組織的活動の準備を行い、大会の開催を目指す。
- ⑩沖縄県ヤングクラブの創設。

(2) 指導者育成

- ①中学校における外部指導者活用ための環境整備。
- ②令和元年度沖縄県スポーツ指導者養成講習会の実施。
- ③都道府県別指導者研修会の実施。
- ④小学生・中学・高校の指導者の有資格者拡大の取り組み

資格名	平成29年度	短期目標	中期目標	長期目標
		H30	H30～35	H30～40
上級コーチ	3	4	7	10
コーチ	15	18	27	45
上級指導員	8	10		
指導員	308	340	400	600
アシスタントマネジャー	5			
ジュニアスポーツ指導員	1			
スポーツプログラマー	1			
スポーツリーダー	1			
総計	342	372	434	655

(3) 指導普及強化（小中高大一般）連絡協議会の実施。

(4) 組織力の強化。

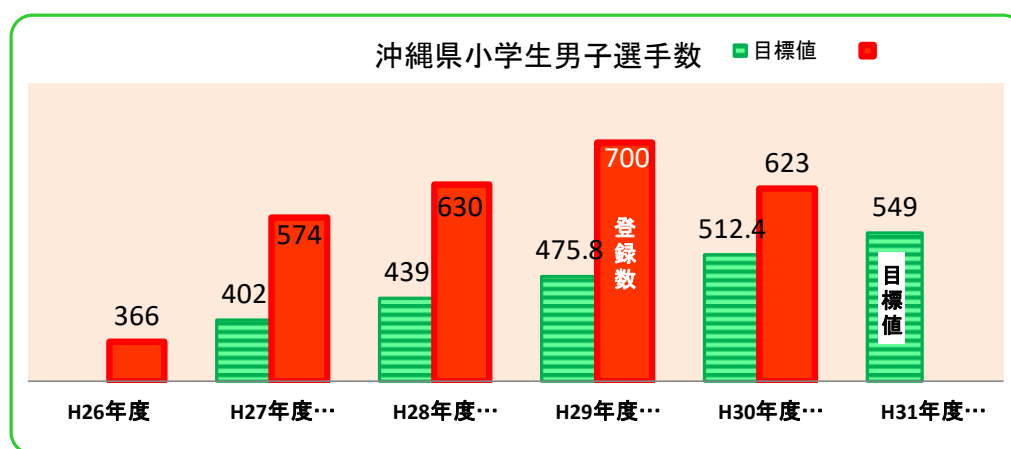
- ①効果的な会議の推進。
- ②各加盟団体との連絡体制の強化。
- ③各委員の仕事分担役割。

(5) 小学生（男子）競技人口目標値

**小学生男子バレーボール競技人口の目標**

**目標** 毎年10%UP(H31年(5年後)、H26年度実績の1.5倍を目指す)

年度	H26年度	目標値				
		H27年度 (1年目)	H28年度 (2年目)	H29年度 (3年目)	H30年度 (4年目)	H31年度 (5年目)
小学生男子	目標値	402.6	439.2	475.8	512.4	549
	実数	366	574	630	700	623



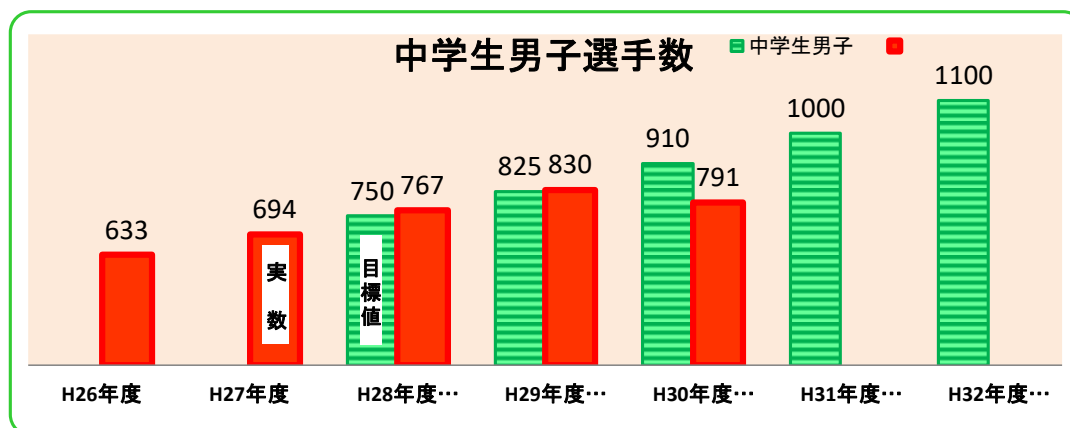
データはJVAのMRSシステムのデータを採用する。データの集計日は8月1日とする

(6) 中学生（男子）競技人口目標値

中学生男子バレーボール競技人口の目標

目標 毎年10%UP(H32年(5年後)、1100を目指す)

	年度	H26年度	H27年度	H28年度 (1年目)	H29年度 (2年目)	H30年度 (3年目)	H31年度 (4年目)	H32年度 (5年目)
中学生男子	目標値			750	825	910	1000	1100
	実数	633	694	767	830	791		



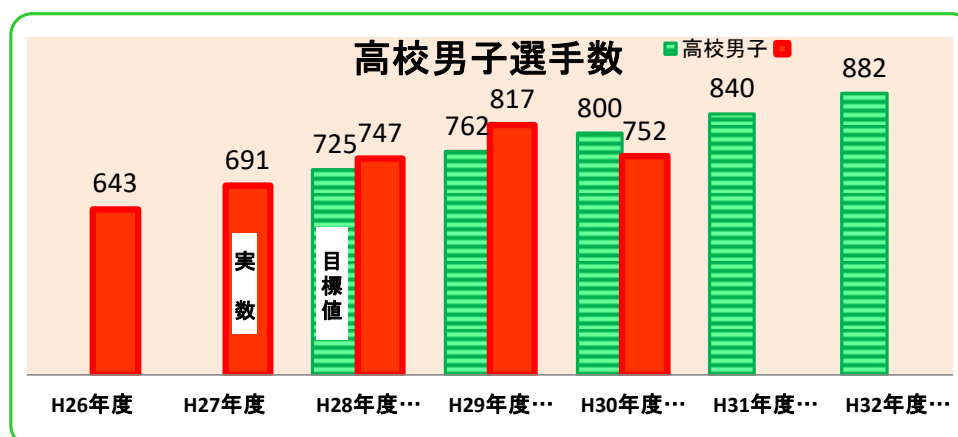
調査はJVAのMRSシステムのデータを採用する。データの集計日は8月1日とする

(7) 高校（男子）競技人口目標値

高校男子バレーボール競技人口の目標

目標 毎年5%UP(H32年(5年後)、882人を目指す)

	年度	H26年度	H27年度	H28年度 (1年目)	H29年度 (2年目)	H30年度 (3年目)	H31年度 (4年目)	H32年度 (5年目)
高校男子	目標値			725	762	800	840	882
	実数	643	691	747	817	752		



調査はJVAのMRSシステムのデータを採用する。データの集計日は8月1日とする